

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)1月15日 No.1079

目次

新春特集 ロシア政財界の戦国地図を読む(1) 少し気の早いロシア大統領選予想.....	服部倫卓 1
キーパーソン.....	9
ロシアのマンオブザイヤーにネムツォフ/9 チュヴァシ共和国の大統領選結果/9	
統計速報.....	10
1997年1~11月の日本の対CIS・東欧主要国貿易/10 データフラッシュ/10	
ホームページ拝見(13) ロシア大統領府.....	11
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	11

新春特集 ロシア政財界の戦国地図を読む(1)

少し気の早いロシア大統領選予想

要旨

1. 2000年の次期大統領選を控え、政財界の動きが目まぐるしく展開しているロシア。国有資産やマスコミの支配権をめぐる争奪戦と合わせ、その全体像を把握することが急務となっている。そこで、今回と次回の2回に分けて、「新春特集 ロシア政財界の戦国地図を読む」をお届けする。まず今回は、政界に焦点を充て、次期大統領選の行方を占う。
2. 次期大統領選の有力候補は、ほぼ7人にしぼられている。うち、エリツィン現大統領、チェルノムイルジン首相、ネムツォフ第一副首相、ルシコフ・モスクワ市長といういわゆる「政権党」候補を本命視する見方が一般的である。前回選挙で裏付けられた政権党の強さ、とくに選挙工学を用いて体制の全資源を動員できる有利さが、そうした見方の根拠となっている。
3. 確かに、いくつかの条件が満たされれば、政権党の優位は動かない。しかし、政権党の各候補が置かれている状況を具体的にみていくと、それぞれに不安材料を抱えていることが明らかになり、予想外の展開も起きないとは限らない。
4. エリートたちが、自分たちに行動の自由を与えてくれる大統領を望んでいることからみて、そもそもロシアの大統領の役割は限定的である。ポスト・エリツィンの焦点は、指導者の交代ではなく新たな政治体制の構築であり、チェルノムイルジン首相がその軸になる可能性が高い。